



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月14日

上場会社名 株式会社 リョーサン

上場取引所 東

コード番号 8140 URL <http://www.ryosan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 稲葉 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 経財本部長 (氏名) 西浦 政秀

TEL 03-3862-2591

定時株主総会開催予定日 2020年6月24日

配当支払開始予定日

2020年6月10日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

( %表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	227,297	9.0	3,108	40.6	2,916	26.6	1,193	19.3
2019年3月期	249,688	1.7	5,236	7.6	3,974	37.9	1,480	67.0

(注) 包括利益 2020年3月期 15百万円 ( %) 2019年3月期 1,494百万円 ( 66.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	50.96		1.4	2.1	1.4
2019年3月期	62.07		1.6	2.6	2.1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 2百万円 2019年3月期 194百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	137,746	84,935	61.7	3,625.21
2019年3月期	146,588	87,861	59.9	3,750.01

(参考) 自己資本 2020年3月期 84,935百万円 2019年3月期 87,861百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	17,994	310	7,475	24,501
2019年3月期	13,052	423	11,530	14,580

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		75.00		75.00	150.00	3,522	241.6	3.9
2020年3月期		50.00		30.00	80.00	1,874	157.0	2.2
2021年3月期(予想)								

2019年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当金50円 特別配当金25円

2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当金50円 特別配当金25円

2020年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当金50円

2020年3月期 期末配当金の内訳 普通配当金30円

なお、2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

新型コロナウイルス感染症拡大による当社グループ業績への影響が本格化することを想定しておりますが、その規模や期間等を見通すことは難しく、現時点において合理的な業績予想の算出が困難な状況であります。

従いまして、2021年3月期の連結業績予想は未定とさせていただきます、合理的な業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表させていただきます。

#### 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	25,000,000 株	2019年3月期	25,000,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	1,570,850 株	2019年3月期	1,570,290 株
期中平均株式数	2020年3月期	23,429,459 株	2019年3月期	23,845,762 株

#### (参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	144,381	9.2	652		827	22.7	395	
2019年3月期	158,971	8.6	961	39.0	1,070	71.9	50	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	16.87	
2019年3月期	2.14	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	100,038		61,654		61.6		2,631.54	
2019年3月期	108,636		65,348		60.2		2,789.14	

(参考) 自己資本 2020年3月期 61,654百万円 2019年3月期 65,348百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

新型コロナウイルス感染症拡大による当社グループ業績への影響が本格化することを想定しておりますが、その規模や期間等を見通すことは難しく、現時点において合理的な業績予想の算出が困難な状況であります。

従いまして、2021年3月期の連結業績予想は未定とさせていただきます、合理的な業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表させていただきます。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 4
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 連結貸借対照表	P. 5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 7
連結損益計算書	P. 7
連結包括利益計算書	P. 8
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 12
(表示方法の変更)	P. 12
(セグメント情報)	P. 12
(1株当たり情報)	P. 14
(重要な後発事象)	P. 14
4. その他	P. 15
(1) 受注の実績	P. 15
(2) 所在地別セグメント情報	P. 15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### ①全体の概況

当連結会計年度における世界経済は、米中貿易摩擦の影響等により減速基調が続く中、年度後半には新型コロナウイルス感染症が拡大し、世界各国の経済活動に甚大な影響を及ぼしました。日本経済もタイミングの違いはあったものの世界経済と同様な展開を辿り、大幅な落ち込みとなりました。

当社グループが従事しておりますエレクトロニクス業界も、産業機器や自動車市場の需要低迷に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、総じて厳しい状況となりました。

当社グループは、期初に第10次中期経営計画を凍結し、収益向上対応策に着手。赤字事業の撲滅、組織の適正化、ソリューションビジネスの選択と集中、人員の適正化等の事業ポートフォリオの体質改善に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高は2,272億97百万円(前期比9.0%減)、営業利益は売上高の減少や収益向上対応策推進に伴う不動在庫廃棄による売上総利益の減少等から31億8百万円(前期比40.6%減)、経常利益は前期に生じた外貨建負債等の評価替えに伴う為替差損が差益に転じたものの29億16百万円(前期比26.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は拠点統廃合に伴う減損損失や希望退職制度実施等により11億93百万円(前期比19.3%減)となりました。結果的には新型コロナウイルス感染症の影響は限定的なものに留まりました。

#### ②セグメントの業績概況

##### イ. 半導体事業

システムLSI、個別半導体、メモリの販売並びにシステムLSIの受託開発を行っております。当連結会計年度は、売上高は産業機器や車載向けの落ち込み等により1,361億54百万円(前期比9.3%減)、不動在庫廃棄による売上総利益の減少等から営業利益は11億62百万円(前期比52.9%減)となりました。

##### ロ. 電子部品事業

機構部品、表示デバイス、電源を販売しております。当連結会計年度は、産業機器向け高付加価値商品の販売低調等により、売上高は742億8百万円(前期比4.2%減)、営業利益は21億42百万円(前期比19.2%減)となりました。

##### ハ. 電子機器事業

システム機器、設備機器を販売しております。当連結会計年度は、売上高は車載向け大型案件が低調に推移したこと等により169億34百万円(前期比23.5%減)となったものの、営業利益は高付加価値商品の取り扱い等があり3億83百万円(前期比0.2%増)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### ①資産

総資産は、前連結会計年度末に比べ88億42百万円減少して、1,377億46百万円となりました。これは現金及び預金が99億21百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が84億21百万円、商品及び製品が74億35百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

#### ②負債

負債は、前連結会計年度末に比べ59億16百万円減少して、528億10百万円となりました。短期借入金が51億9百万円、買掛金が12億84百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

#### ③純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ29億26百万円減少して、849億35百万円となりました。これは親会社株主に帰属する当期純利益が11億93百万円あったものの、配当金の支払いが29億28百万円あったこと等によるものであります。なお、自己資本比率は、前連結会計年度の59.9%から61.7%に上昇しました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて99億21百万円増加し、245億1百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が17億93百万円であったことに加え、売上債権が78億9百万円、たな卸資産が67億91百万円それぞれ減少したことにより、全体で179億94百万円の資金の増加となりました。なお前連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは130億52百万円の資金の増加でした。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出3億11百万円等により、全体で3億10百万円の資金の減少となりました。なお前連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは4億23百万円の資金の減少でした。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金43億67百万円減少したことに加え、配当金の支払が29億22百万円あったため、全体で74億75百万円の資金の減少となりました。なお前連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは115億30百万円の資金の減少でした。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
自己資本比率 (%)	73.5	67.8	57.9	59.9	61.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	52.8	58.2	57.7	47.4	40.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	2.3	—	—	1.8	1.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	34.5	—	—	16.3	30.7

自己資本比率 : 自己資本/総資産  
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産  
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー  
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに算出しております。

※キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

①全体の業績見通し

新型コロナウイルス感染症拡大による当社グループ業績への影響が本格化することを想定しておりますが、その規模や期間等を見通すことは難しく、現時点において合理的な業績予想の算出が困難な状況であります。

従いまして、2021年3月期の連結業績予想は未定とさせていただき、合理的な業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表させていただきます。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当・次期の配当

①利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要政策の一つと認識すると共に、1株当たり当期純利益の向上に努めております。配当につきましては、安定的に高配当を維持するべく連結配当性向50%以上を基本方針としております。

②当期・次期の配当

当連結会計年度の期末配当金につきましては、普通配当金30円とさせていただき予定であります。詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想値と実績値の差異及び剰余金の配当に関するお知らせ」をご参照ください。中間配当金を含めました年間配当金は1株当たり80円となります。

次期の配当につきましては現時点では未定とし、業績予想と併せ、公表させていただきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,580	24,501
受取手形及び売掛金	62,109	53,687
商品及び製品	44,676	37,240
仕掛品	4	2
未収入金	7,621	6,196
その他	373	322
貸倒引当金	△34	△152
流動資産合計	129,330	121,799
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,930	7,401
減価償却累計額	△4,839	△4,675
建物及び構築物（純額）	3,090	2,726
土地	6,145	5,758
リース資産	984	1,173
減価償却累計額	△432	△628
リース資産（純額）	551	545
その他	2,536	2,082
減価償却累計額	△2,389	△1,840
その他（純額）	146	241
有形固定資産合計	9,934	9,271
無形固定資産		
投資その他の資産	963	946
投資有価証券	4,043	3,517
繰延税金資産	205	340
その他	2,221	2,241
貸倒引当金	△109	△68
投資損失引当金	-	△301
投資その他の資産合計	6,360	5,729
固定資産合計	17,258	15,947
資産合計	146,588	137,746

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	29,760	28,475
短期借入金	23,268	18,158
リース債務	173	229
未払金	1,172	2,005
未払費用	1,348	1,228
未払法人税等	201	454
その他	260	145
流動負債合計	56,185	50,697
固定負債		
リース債務	439	369
繰延税金負債	280	38
退職給付に係る負債	1,732	1,622
資産除去債務	31	30
その他	57	52
固定負債合計	2,541	2,113
負債合計	58,726	52,810
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	17,690	17,690
資本剰余金	19,114	19,114
利益剰余金	55,572	53,857
自己株式	△6,531	△6,532
株主資本合計	85,846	84,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,546	1,158
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	495	△300
退職給付に係る調整累計額	△26	△52
その他の包括利益累計額合計	2,015	805
純資産合計	87,861	84,935
負債純資産合計	146,588	137,746



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	249,688	227,297
売上原価	229,036	209,539
売上総利益	20,651	17,757
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,083	997
貸倒引当金繰入額	△11	127
役員報酬	425	382
給料及び手当	4,498	4,405
賞与	1,349	1,270
退職給付費用	447	447
福利厚生費	1,039	1,016
減価償却費	530	631
その他	6,051	5,371
販売費及び一般管理費合計	15,414	14,649
営業利益	5,236	3,108
営業外収益		
受取利息	27	67
受取配当金	85	77
為替差益	-	67
受取賃貸料	49	56
雑収入	166	159
営業外収益合計	328	428
営業外費用		
支払利息	717	577
持分法による投資損失	194	2
為替差損	655	-
雑損失	23	40
営業外費用合計	1,590	620
経常利益	3,974	2,916
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	44	-
関税費用補填金	-	187
特別利益合計	45	189
特別損失		
減損損失	-	513
投資有価証券評価損	-	8
出資金評価損	4	-
投資損失引当金繰入額	-	301
ゴルフ会員権評価損	-	14
ゴルフ会員権売却損	-	0
特別退職金	-	473
のれん償却額	436	-
関税費用	876	-
特別損失合計	1,317	1,312
税金等調整前当期純利益	2,702	1,793
法人税、住民税及び事業税	922	850
法人税等調整額	299	△250
法人税等合計	1,222	599
当期純利益	1,480	1,193
親会社株主に帰属する当期純利益	1,480	1,193

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,480	1,193
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△376	△388
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	443	△796
退職給付に係る調整額	△52	△25
その他の包括利益合計	14	△1,209
包括利益	1,494	△15
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,494	△15

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	17,690	19,114	72,740	△17,215	92,329
当期変動額					
剰余金の配当			△3,601		△3,601
親会社株主に帰属する当期純利益			1,480		1,480
自己株式の取得				△4,257	△4,257
自己株式の消却			△14,941	14,941	—
連結範囲の変動			△104		△104
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△17,168	10,684	△6,483
当期末残高	17,690	19,114	55,572	△6,531	85,846

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	1,923	△0	52	25	2,001	94,331
当期変動額						
剰余金の配当						△3,601
親会社株主に帰属する当期純利益						1,480
自己株式の取得						△4,257
自己株式の消却						—
連結範囲の変動						△104
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△376	0	443	△52	14	14
当期変動額合計	△376	0	443	△52	14	△6,469
当期末残高	1,546	0	495	△26	2,015	87,861

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	17,690	19,114	55,572	△6,531	85,846
当期変動額					
剰余金の配当			△2,928		△2,928
親会社株主に帰属する当期純利益			1,193		1,193
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			19		19
当期変動額合計	-	-	△1,714	△1	△1,716
当期末残高	17,690	19,114	53,857	△6,532	84,130

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	1,546	0	495	△26	2,015	87,861
当期変動額						
剰余金の配当						△2,928
親会社株主に帰属する当期純利益						1,193
自己株式の取得						△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△388	△0	△796	△25	△1,209	△1,189
当期変動額合計	△388	△0	△796	△25	△1,209	△2,926
当期末残高	1,158	0	△300	△52	805	84,935

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,702	1,793
減価償却費	551	653
減損損失	-	513
のれん償却額	582	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△29	77
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△45	△91
投資損失引当金の増減額(△は減少)	-	301
受取利息及び受取配当金	△112	△144
支払利息	717	577
持分法による投資損益(△は益)	194	2
投資有価証券売却損益(△は益)	△44	-
その他の損益(△は益)	551	△504
売上債権の増減額(△は増加)	15,178	7,809
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,290	6,791
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,623	△898
未収入金の増減額(△は増加)	2,627	1,424
その他の資産・負債の増減額	△295	1,137
小計	16,244	19,444
利息及び配当金の受取額	202	145
利息の支払額	△799	△585
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,594	△1,009
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,052	17,994
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
拘束性預金の払戻による収入	76	-
有形固定資産の取得による支出	△107	△311
有形固定資産の売却による収入	45	161
無形固定資産の取得による支出	△232	△215
関係会社株式の取得による支出	△200	-
投資有価証券の取得による支出	△60	△15
投資有価証券の売却による収入	44	-
会員権の売却による収入	-	12
出資金の払込による支出	△2	-
出資金の回収による収入	0	-
貸付金の回収による収入	0	0
投資事業組合からの分配による収入	20	-
保険積立金の積立による支出	△123	△131
保険積立金の解約による収入	115	188
投資活動によるキャッシュ・フロー	△423	△310
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,508	△4,367
リース債務の返済による支出	△165	△184
自己株式の取得による支出	△4,257	△1
配当金の支払額	△3,599	△2,922
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,530	△7,475
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	△286
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,066	9,921
現金及び現金同等物の期首残高	13,471	14,580
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	41	-
現金及び現金同等物の期末残高	14,580	24,501

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」(2016年1月13日。以下「IFRS第16号」という。)を、当連結会計年度より適用しています。

IFRS第16号の適用により、借手のリースは、原則としてすべてのリースについて資産および負債を認識していません。IFRS第16号の適用にあたっては、その経過的な取扱いに従って、当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用による連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、事業セグメント別の財務情報により作成し、最高経営責任者が定期的に業績を評価する対象となっているものであります。

当社グループは、本社に商品・製品別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱う商品・製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って当社グループは事業本部を基礎として、「半導体事業」、「電子部品事業」及び「電子機器事業」の3つを報告セグメントとしております。

各事業区分の主要な商品・製品の名称は下記のとおりであります。

半導体事業 …………… メモリ・システムLSI・個別半導体

電子部品事業 …………… 表示デバイス・電源・機構部品

電子機器事業 …………… システム機器・設備機器

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結損益計 算書計上額 (注) 2
	半導体事業	電子部品事 業	電子機器事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	150,112	77,440	22,135	249,688	—	249,688
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	150,112	77,440	22,135	249,688	—	249,688
セグメント利益	2,465	2,650	382	5,498	△262	5,236

(注) 1 セグメント利益の調整額△262百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 セグメント資産は、最高経営責任者が業績を評価する対象となっていないため記載しておりません。

当連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結損益計 算書計上額 (注) 2
	半導体事業	電子部品事 業	電子機器事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	136,154	74,208	16,934	227,297	—	227,297
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	136,154	74,208	16,934	227,297	—	227,297
セグメント利益	1,162	2,142	383	3,688	△579	3,108

- (注) 1 セグメント利益の調整額△579百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。  
 全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。  
 3 セグメント資産は、最高経営責任者が業績を評価する対象となっていないため記載しておりません。

b. 関連情報

- 1 製品及びサービスごとの情報  
 報告セグメントと同一区分のため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

前連結会計年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	中国	アジア	その他	連結
売上高	132,287	61,090	46,565	9,745	249,688
連結売上高に占める割合(%)	53.0	24.5	18.6	3.9	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	中国	アジア	その他	連結
売上高	120,309	52,930	43,344	10,712	227,297
連結売上高に占める割合(%)	52.9	23.3	19.1	4.7	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	3,750.01円	3,625.21円
1株当たり当期純利益	62.07円	50.96円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2 算定上の基礎

(1) 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	87,861	84,935
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	—	—
(うち非支配株主持分)	(—)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	87,861	84,935
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (千株)	23,429	23,429

(2) 1株当たり当期純利益

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,480	1,193
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,480	1,193
普通株式の期中平均株式数 (千株)	23,845	23,429

(重要な後発事象)

該当事項はありません。



4. その他

(1) 受注の実績

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
半 導 体 事 業	150,441	143,615
電 子 部 品 事 業	76,536	74,688
電 子 機 器 事 業	22,568	18,948
計	249,547	237,252

(2) 所在地別セグメント情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	日 本	ア ジ ア	そ の 他	計	消去又 は全社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	138,677	101,350	9,659	249,688	—	249,688
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	20,293	402	0	20,696	△20,696	—
計	158,971	101,752	9,660	270,384	△20,696	249,688
セグメント利益	1,290	3,106	288	4,685	551	5,236

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。  
 2. 各区分に属する主な国又は地域  
 アジア …… 香港・タイ・中国・韓国等  
 その他 …… 米国等

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	日 本	ア ジ ア	そ の 他	計	消去又 は全社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	125,850	90,967	10,479	227,297	—	227,297
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	18,531	259	17	18,807	△18,807	—
計	144,381	91,226	10,496	246,104	△18,807	227,297
セグメント利益	△202	2,357	367	2,521	586	3,108

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。  
 2. 各区分に属する主な国又は地域  
 アジア …… 香港・タイ・中国・韓国等  
 その他 …… 米国等